



昇りゆく朝日を表し
希望と喜びの願いが
こめられている

ほほえみ

第9号 2006年6月



■色見小跡地にて



■散歩中、ちょっとひとやすみ…。

目次

- p 1・2…………職員紹介
- p 3・4…………くらしとしごと
- p 5…………行事紹介(12月～3月)
- p 6…………作ってみませんか卵料理
- p 7・8…………デイ便り
- p 9・10………こんにちは高森寮さん
(実習生特集)
- p 11…………保護者の声・職員の声
- p 12…………障害者自立支援法について
- p 13…………ほほえみコーナー

事務所



(左) 手島 清士(施設長)
(中央) 榎木野 秀徳
(右) 手島 智子(副施設長)

指導主任



栗屋 千代美

看護師



津留 きぬ子

全体



宇藤 育三

職員紹介

全職員一気にご紹介

栄養課



(左) 高宮 良子
(中央) 工藤 哲子
(右) 工藤 直子

(左) 桐原 美和
(中央) 今村 キミエ
(右) 藤田 のり子

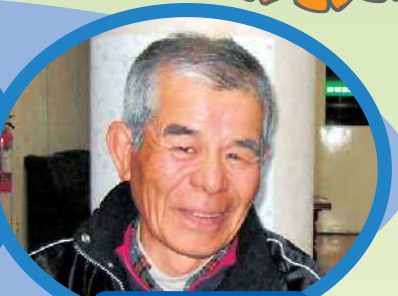
夜勤者



桐原 利光



立山 定男



柿添 宏昭

デイサービスセンター



(左) 興梠 真紀
(中央) 橋本 精男
(右) 今村 恵理

皆様のご利用
お待ちしております。

生活

(左から) 吉岡 美紀 安達 京子 佐藤 美春 山村 京子



(左から)
二村 真純
岩下 エミ子



本田 ユカ



田原 勝美



石山 栄子



堀 かおる



住吉 富美子

作業



山村 哲也



後藤 理恵



山室 博己



友岡 康幸



楠林 衛

3人組を取り上げてみました。

くまのこまどり

村上 誠さん



村上さんの朝一番の仕事は朝食後の食堂掃除です。「キレイになつてますか?」「キレイになりよるはい。」

午前9時には鶏舎で餌やりです。黄鶏舎と赤鶏舎を担当しています。午前11時と午後4時の餌やりもします。

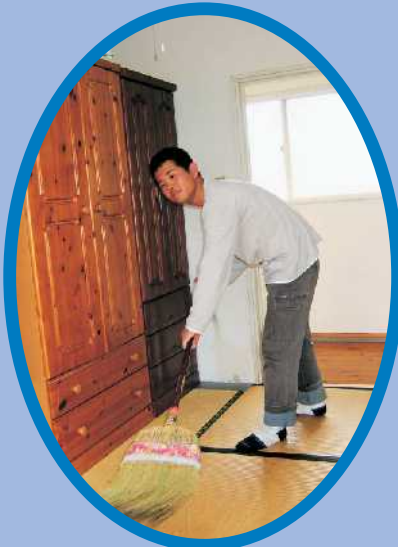


飯法師 奈菜さん



作業所で卵を拭いている奈菜さん
今日も笑顔でキレイにしてね。

中島 剛一さん



自立棟生活者の中島さんは起床してから朝食までの間に自分の部屋とトイレ掃除をします。

歯みがき後は洗面所の掃除をします。



今回は、高森寮の若々しい



夕食後のひととき
ホールで岩本清美さんと…。



半休日はバスで買い物に
出掛けます。今日は喫茶店
(ディアートハウス)で食事中。



午後は町のトイレ掃除や
カンナくず運びをします。



居室でテレビを見ながらの
ティータイム。
おいしそう。



園芸の作業が終わると
棟の廊下を掃除しています。



お昼からは園芸の作業です。
今日は草取りをしています。



自立棟居室で音楽を聴くのが好きな剛一さん。
「今日は何を聴いてますか?」「アムロ」たい。



寮周辺の掃除をしています。
今日は草取りです。

成道会(12月6日)

お釈迦様が悟りをひらいた日。高森寮では毎年お経を聴き、お祝いをします。みなさんは豪華な食事会の方が楽しみのようです。



「写真撮りますよ〜」
って、皆さん食べる方に夢中ですね。

どうです、このごちそう!!
全部栄養課職員の手作りです。

やわらかおもちいただきませーす!

もちつき(12月27日)

寮の職員、力自慢の利用者の方達が、杵と臼を使って正月用のもちつきをしました。



つきたてのやわらかなおもちをみんなでいただきました。



つきたてのおもちはやわらかくておいしいー!!

迫力あるもちつき!!

春の一日外出

だんだんと暖くなり、まさに外出日和(?!)
皆さん外へとお出掛けです! それぞれの場所で楽しく過ごされていましたよ!



子ぐまを抱いてハイポーズ!
体重38kgのこれって子ぐま!?
「カドリードミニオンにて」

成人の祝い

2月12日、高森寮・デイセンター合同で成人を迎えた3名の方のお祝いをしました。今年は寮から2名、デイセンターから1名の方が成人を迎えられました。他の方と比べるとまだまだ若い3名ですが、これから大人の仲間入りです!! ステキな大人になって下さね。



高月 美香さん
(デイセンター利用者)

着物を着ておすまし…。
「いつもより大人っぽいでしょ!」



飯法師 奈菜さん

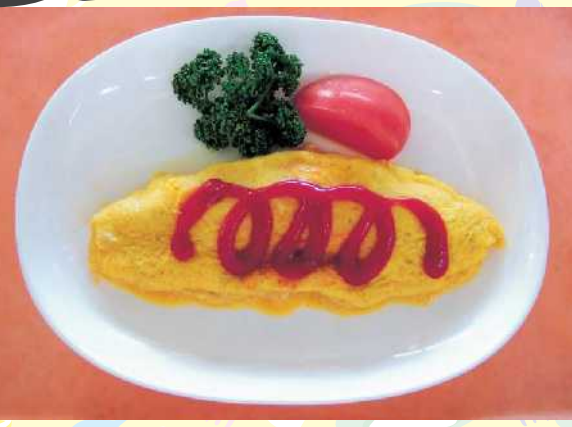
普段よりステキな笑顔!
エプロン姿もいいけど、たまにはおめかししないとね!



上葉 啓太さん

スーツ姿が男前!!
今日はいつもより凛々しく見えますね!

作ってみませんか 卵料理



プレーンオムレツ

【材料】(一人分)

- 卵 …………… 2個
- 無塩バター …… 20g
- 塩・白胡椒 …… 適量
- パセリ …………… 少々

卵を割って、ボールに入れて塩・胡椒して溶きほぐす。フライパンを強火にかけ、バターを入れる。バターが溶けて臭いがしてきたら、卵を入れてクリーム状に混ぜながら焼く。形を整えて、皿に移し、上にミジンパセリを振る。好んでケチャップをのせても良い。

お中元、お歳暮などの贈り物にいかがですか!

ギフト(30コ入り) **1,400円**

ギフト(60コ入り) **2,600円**

阿蘇根子岳の麓で緑草をついばみのびのびと育った地鶏の卵です

パック(10コ入り) **400円**

パック(6コ入り) **240円**

※宅配も行っていきます

高森寮で育てた地鶏の有精卵はいかがですか!

自然な環境で育てるため日中は放し飼い!

ご連絡頂ければすぐに発送いたします!

地鶏有精卵

一口メモ 卵を酢に漬けておくと、水面に白い泡がでできます。これをすくって一日にスプーン一杯ほどとると、カルシウムの摂取ができるそうです。(「たまご雑学塾」より)

甘くて美味しいスイートコーンはいかがでしょう!!

高森寮では、毎年施設内の畑でスイートコーンを栽培しています。5月に種の植え付けを始め7月~8月に収穫します。阿蘇の豊かな大地で育ったとれたてのスイートコーン。是非ご賞味下さい。

1箱 2,000円 (20~25本入)

1袋 500円 (5~6本入)

※本数は、大きさによって違います。

ご連絡頂ければこちらから発送致します!! (送料別)

デイ便り

デイサービスセンターがオープンして早くも5年目を迎えました。今回も、センターで過ごされているみなさんの表情を紹介します。



秋に収穫した“芋”を使って“芋きんつば”調理中!! はたして出来栄は…

“芋きんつば”作り



これが完成した“芋きんつば”甘さひかえめのヘルシーメニュー!!



こちらも“芋”を使っ (左から)
ての “いきなり団子” 作り! 福永 洋一さん、高倉 裕也さん、
シェフは男性が多いとか… 渡辺 将雄さん、古澤 孝昭さん、
デイセンターもそのようで! 本田 未治さん

“いきなり団子”作り



“いきなり団子”のつもりで作った“芋入り万十”お味はなかなか美味!

クリスマス・忘年会



センターのみなさん総出で飾り付けた“クリスマスツリー”ほんの少し枝も重そうです。



忘年会でしめくり。「林 安芸子さん 乾杯の声かけお願いしま〜す!!」



忘年会の食卓に並んだのは、“ミルクボーロ”素朴な味をかみしめながら1年をふりかえりました。

春待ち遠しい頃



節分



年が明けるといつの間にか“節分”。
 今年は、3回も“福まねき”を行いました。
 (左から)本田 信男さん、福永 洋一さん、
 中村ケイ子さん、高月 美香さん、
 清崎 聖史さん、高倉 裕也さん、
 堤 節雄さん

「今から帰りま〜す。」
 帰宅前のワンショット

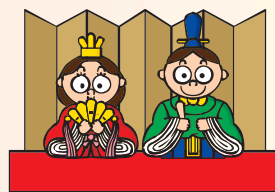
(左から)
 野尻 成美さん、高月 美香さん、
 松岡 裕子さん、高倉 裕也さん、
 本田 富美さん、本田 信男さん、
 森川 瞳さん



雑祭り



♪明かりをつけましょ
 ぼんぼりに〜♪
 センターの雑壇飾りには
 男性が大活躍。3月3日過
 ぎたら、すぐに片づけま
 した。



“卓球台” 毎日大活躍中!!



今までテーブルを4台つなげて
 卓球台にしていますが、
 何と“本物”が登場!!
 毎日、誰かが使っています。
 ちなみに今日は
 清崎さん(左)、堤さん(右)の
 対戦です。

新コーナー

マルクの ひとりごと

ある福祉の研修会での事、
 講師の女性が「私も実は障害
 者です。」と言う。不思議に思
 っていると、「私は眼鏡をか
 けています。眼鏡という福祉
 用具を使っています。だから、
 私も障害者なのです。」
 研修会を終えて帰りの車
 中で思いました。《私も眼鏡
 をかけているので、障害者で
 はないか。》 私達が通常生
 活している時に眼鏡を掛け
 ている人を障害者と見てい
 ないでしよう?

私が働いている高森寮に
 も様々な人がいます。でも、
 眼鏡を掛けている人を障害
 者と見ていないように、近い
 将来、様々な障害を持ってい
 るすべての人が「障
 害者」として見られ
 ない日々が来れば
 良いと思っています。

(マルク)



こんばんは高森寮さん

実習生特集

貴重な二週間を終えて

尚絅短期大学実習生 児玉 直美さん

約二週間の実習を終えて高森寮で様々な事を学ぶことができ、職員の方をはじめ、利用者の方々にも大変お世話になりました。

実習前は不安や緊張がありました。いざ高森寮へ行くと、朝から笑顔が絶えることなく、ポンポンと会話が弾み、利用者と楽しい時間を過ごすことが出来ました。

養鶏や園芸など体力を使う作業もありましたが、利用者の方と協力し合って、時折ジョークなどを言いあい、笑いながらきつい作業も楽しくできました。大変な仕事だと思いましたが、利用者の笑顔を見ると、「ああ、やってよかったなあ。」と思ひ、とてもやりがいを感じました。

今回の実習は、私の視野が広がり物事を様々な方向から考える事ができるようになったと思います。これも職員の方々が指導、助言して下さったおかげだと思います。

一週間という貴重な期間に高森寮で実習できて本当に良かったと思います。ここで得た経験を大切に、更に頑張っていこうと思います。

職員の方、高森寮利用者の皆様、これからも体調に気をつけていつまでも笑顔でいて下さい。本当にありがとうございました。

実習を終えて

尚絅短期大学実習生 市原 美和子さん

一週間の実習を終え、高森寮で実習をすることができてよかったと思います。実習に行く前は、ちゃんとできるのかとても不安でした。初日は、緊張と不安がありました。利用者の方々から気軽に話しかけてもらい、職員の方々も優しく、それは次第になくなっていきました。

一日一日過ぎるごとに、利用者の方と積極的に話せるようになったことで、実習がとても楽しくなりました。

作業区、デイサービスセンター、生活区とやっていき、さまざまな利用者の方と関わることで

き、利用者の方々の笑顔を見るたびに、私もいつの間にか笑顔になっていました。

実習を通して、利用者の方から学んだこと、職員の方から指導していただいたことをこれから先へとつなげていければと思っています。



尚絅短期大学 実習生
(左から)児玉さん・高橋さん・市原さん

充実した時間

尚絅短期大学実習生 高橋 裕美さん

実習を終えて今思うと、私はずっと笑っていたような気がします。二・三日目までは肩の力が抜けず不安いっぱいでしたが、朝からみなさんと交わす挨拶はいつも私に元気をくれました。だんだんと一人一人の個性を知り、写真を見せてくれたり、年上の方とのお話はとてもおもしろかったです。お孫さんの写真や若い頃の写真もあり、「昔はかっこ良かったっばい。」と言われていました。が今でも充分にみなさん美男美女でした!!

生活区、作業区、デイセンターのどの区でも一生懸命に作業されており、見習う事はかりました。やり方が分からず困っているときぐ声をかけてもらい何度も助けられました。

また、色見小でのグループホームの方とのバレー練習ではボールをいるんな所へ飛ばしてしまい、実習生三人はエンジンジョイしましたが職員の方々はいつもより疲れたと思います。

寮の食事はとても美味しくていつしか楽しみの一つとなりました。栄養課のみなさんありがとうございました。職員と利用者との関係の間にはゆっくりとした時間が流れていました。職員の方々には、忙しい中アドバイスをしていただき、私の中の反省点としてこれから解決しようと思います。あつという間に充実した時間を過ごせ、高森寮のみなさんに心から感謝しています。ありがとうございました。高森町めぐりを計画中なので見かけたら声をかけて下さいね。またみなさんと会える日を楽しみにしています。

実習を終えて

麻生医療福祉専門学校実習生

住吉 隼さん



センター利用の野尻成美さんと
(左が住吉さん)

この原稿を渡された時に「まさか」とは思ったのですが、そのままかが当たってしまいました。

私が高森寮に来るのは約七年振りということもあり、不安と緊張が入り混じった複雑な心境でした。しかし寮の中に入ってみると、利用者の方から「おはよう」と挨拶をして下

さったり、笑顔で話をしてくられたのですごく実習に入りやすかったです。この二週間の実習の間に気付いたことは、利用者のみなさんや職員の方々が毎日笑顔だったということです。実習がすごく大変できつい時でも、利用者のみなさんの笑顔を見ると、「今日も一日頑張ろう」という気持ちになれるし、疲れも無くなる感じがしました。そしてみなさんが笑っていると、私も自然と笑顔でいることが増えてきました。このような明るい場所での実習をすることができて非常に良かったと思います、人の優しさというものを知ることができたと思います。

この二週間で私はいくつものことを学ぶことができたと思います。その中で「生きる喜び・大切さ」を学ぶことができました。みなさん毎日の生活に生きがいがあるように明るく生活をされていたし、毎日が笑顔で自分に誇りを持っておられたからです。今の社会は集団自殺や殺人が増えてくる一方で、毎日の生活に生きがいを持たせて過ぎしている人も減ってきているような気がします。この他にも学校で学ぶことのできない大切なことをたくさん学ばせてもらいました。この実習で学んだことをこれからの自分の将来の糧にできるように努力したいと思います。二週間ありがとうございました。

実習を終えて

中九州短期大学実習生

武田 みどりさん



高森寮利用者の皆さんと
(左から)山口和美さん・藤原五十子さん・武田さん

私が通っている学校では障害児の勉強をしています。障害者については全く学んでいませんでした。障害児の勉強をしているときに、障害者についても学びたいと思い、私の地元にある「高森寮」で実習することを決めました。

実習初日は、不安や緊張で上手くいかない一日で落ち込んでいました。しかし、時間が経つごとにまわりも見えるようになり、利用者の方との関わりも深まって、楽しくコミュニケーションがとれるようになりました。

生活区の一日は、正直戸惑いました。色々な方が生活されていて、私に何を伝えているのかもわからずコミュニケーションがとれない状況でした。しかし、翌日から戸惑うということがなく、気持ちに余裕ができて、リラククスして介助や支援ができるようになりました。私がリラククスできたのは、利用者の方と職員の方の笑顔、利用者の方の豊かな発想だと思えます。毎日朝から笑わせられました。また、高森寮は自然に囲まれ、とても良い環境でゆったりとした気持ちになれたからだと思います。

高森寮の方達の努力、目標は「自分の事は自分で出来るようになる事(身辺処理の自立)」「社会性、生活習慣を身につける事」「たくましく生きる希望を取り戻す事」です。高森寮は、まさにこの言葉通りです。

この実習で色々な方と出会い、その出会いによって学び教えられることができました。二週間の施設実習でしたが、とても勉強になった実習になりました。

保護者の声

四度目の春を迎えて

中嶋 英昭さん



左が中嶋英昭さん

子供が校前線とともに高校を卒業し、高森寮に来てから4年が過ぎようとしています。卒業生のお別れ会の日でした。この施設も満員で、入所するのがきびしい状況の中、高森寮入所の連絡をもらい、子供と二人で飛び上がってよろこんだものです。

卒業前に何回か現場実習でお世話になり、入所時には寮生の皆さんとも仲よしで、たくさんのお友達に迎えられる、何の心配もなく入所する事が出来ました。今、寮長そして職員の方、地域の皆さんの温かい御支援により、明るく元気に、そして楽しく過ごしております。本当に有難うございます。皆さんのお陰と感謝いたします。

小さい頃は体が弱く、特に風邪引きで泣かされました。「ごはんをいっぱい食べて強くなれ」と何回も叱ったものです。ある日テレビを見ていて、「お父さん森進一も風邪を引くとるはよ」「なごや」「声が枯れちやるはよい。」「そりゃせけん声たい。」「ちがう風邪引いちよるとはよ。」「わうちやあぢた。」「わうちよえ。」「…そんなエピソードもあった事を思い出します。何時の間にか、ごはんもいっぱい食べ、元気になりました。

これから先の長い人生、皆様の御支援、御指導よろしくお願い致します。

職員の声

私の思い

工藤 哲子



いよいよ春の訪れ。新緑や草花や桜の花も美しく咲きました。毎年この季節になると、わらびやぜんまい等の山菜を探して山登りをします。小川を渡り、途中清水寺を通り曲がりくねった道をだんだん登って行くと、中腹にはわらびやぜんまいがいっぱいあります。それを少しだけとりまします。又、山中に向かって「ヤッホー」と叫ぶと猿やつなぎ、鹿など驚いて顔をのぞかせます。なかでも黄金色に輝いている二羽の山鳥との出会いは、とっても綺麗で感嘆しました。まるで自然動物園のようです。それに清水峠からは南阿蘇が一望できます。根子岳・高岳・中岳・烏帽子岳があり、前面には高森寮、高森の町並や白川の流れ、多くの田畑など青く晴れた日は眺望絶景です。だんだんと都市化が進む中で、今でもこの様な古里があるなんて幸せなことです。さらにこの高森寮内でも利用者の皆様との日々の生活や給食などのふれあいは微笑ましい限りです。私は厨房で働いています。先輩、同僚にも大変感謝しています。

今では福祉の仕事に少しでも関わられて良かったと思います。これからの人生を深く尊いものにしたと思います。

五年目を迎えたい

今村 恵理



高月美香さん(左)と一緒に

早いもので高森寮に勤務して五年目の春を迎えました。元々が南阿蘇の出身ではないので、

高森に来た時は今までと違う阿蘇の景色に感動したのを覚えています。利用者の皆さんとはもう六年のおつきあいですね。最初に皆さんとお会いしたのは私がまだ二十歳になりたての学生の時でした。あの頃から変わらず、年をとったように感じられない方がほとんどですね。実習中皆さんの優しい心や言葉に触れ、辛い実習も乗り越えられたと思っています。これでお別れするのかと思うと涙が出ましたが、その後から今まで長々とお世話になってます(笑)。

現在はデイサービスセンターの方で地域から来られている皆さんと、あつという間に過ぎていく時間を楽しく過ごさせて頂いています。元気が皆さんに負けないうちも元気に動きまわっている毎日です。これからも利用者の方達から学び、考えさせられながら自分自身成長できたらと思っています。

障害者自立支援法が導入されました

障害者自立支援法の施行により、平成18年4月からサービスの仕組み、利用者負担の仕組みが変わってきています。今後、5年ほどかけて少しずつ新体制に移行していきます。

障害者自立支援法による改革のねらい

1. 障害者の福祉サービスを一元化

サービス提供主体を市町村に一元化。障害の種別（身体障害、知的障害、精神障害）にかかわらず障害者の自立支援を目的とした共通の福祉サービスは共通の制度により提供。

2. 障害者がもっと働ける社会に

一般就労へ移行することを目的とした事業を創設するなど、働く意欲と能力のある障害者が企業等で働けるよう、福祉側から支援。

3. 地域の限られた社会資源を活用できるよう「規制緩和」

市町村が地域の実情に応じて障害者福祉に取り組み、障害者が身近なところでサービスが利用できるよう、空き教室や空き店舗の活用も視野に入れて規制を緩和する。

4. 公平なサービス利用のための「手続きや基準の明確化」

支援の必要度合いに応じてサービスが公平に利用できるよう、利用に関する手続きや基準を透明化、明確化する。

5. 増大する福祉サービス等の費用を皆で負担し支え合う仕組みの強化

(1) 利用したサービスの量や所得に応じた「公平な負担」

障害者が福祉サービス等を利用した場合に、食費等の実費負担や利用したサービスの量等に応じた公平な利用者負担を求める。この場合、適切な経過措置を設ける。

(2) 国の「財政責任の明確化」

福祉サービス等の費用について、これまで国が補助する仕組みであった在宅サービスも含め、国が義務的に負担する仕組みに改める。

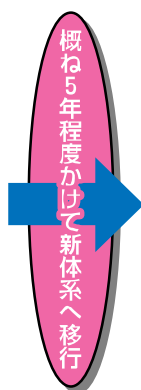
事業体系・施設体系の見直し

【見直しの方針】

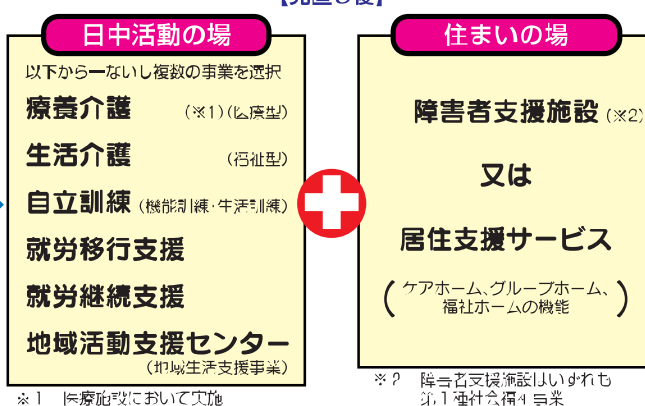
- 「地域生活支援」、「就労支援」といった新たな課題への対応をするため、自立訓練や就労移行支援等の地域生活への移行へ資する機能を強化するための事業を実施する。
- 入所期間の長期化など本来の施設の機能と入所者の実態の乖離を解消するため、サービス体系を機能に着目して再編し、効果的・効率的にサービスが提供できる体系を確立する。

【現行】

重症心身障害児施設（年齢超過児）
身体障害者進行性筋萎縮症療養等特設事業休止施設
身体障害者療養施設
更生施設（身体・知的）
授産施設（身体・知的・精神）
小規模通所授産施設（身体・知的・精神）
福祉工場（身体・知的・精神）
精神障害者生活訓練施設
精神障害者地域生活支援センター（デイサービス部分）
障害者デイサービス



【見直し後】



利用者負担の変化

- 入所施設を利用する場合
- グループホームを利用する場合
- 通所・デイサービス・ショートステイを利用する場合
- ホームヘルプサービスを利用する場合

食費等
実費負担

利用額の
一割負担

詳しくは、各町村役場にお尋ね下さい。

●お知らせ●

輝き大会

日にち:平成18年
6月10日(土)
会場:小国ドーム
開会:午前9時20分

たくさんの
ご参加ご声援
お待ちしております。

ほほえみコーナー

利用者のいい顔を紹介します!!



町 文子さん
山都町出身

今回は第3号の広報誌の《くらしとじぶん》で登場していただいた、町文子さんをご紹介します。以前は洗濯班で仕事をされていました。現在、午前中は作業所で卵拭きをして、午後からは部屋でちり紙折りの仕事をされています。

今回の写真は昼食中におじやまして撮らせていただきました。「おいしかよ〜!」と声が聞こえてきそうな写真でしょう。いつも、笑顔の町文子さんです。

編集後記 (ほほえみ会の声)

新メンバー登場。「ほほえみ」も、より活動的な内容にしたいと思っています。よろしくお願ひします (Y)

何気なく…四年目の春です。 (ひまわり娘)

卒業します。 (卵売りの少女)

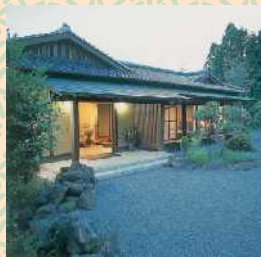
今回、「ほほえみ会の声」にメンバーそれぞれの思いを記してみました。「つぶやき」ではおさまりにきれいな一人分は、別のコーナーにとり出してあります。さてさて、それはどこに…。(けい)

阿蘇白水・
地鶏の店

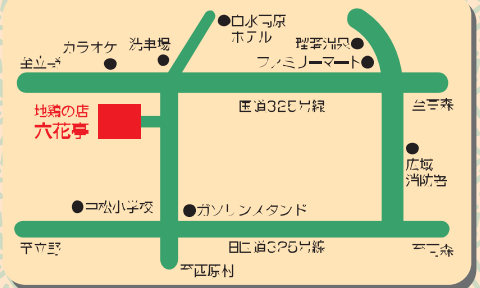
六花亭

からの
お知らせ

ご予約 承ります。



六花亭コース 2,100円



お電話お待ちしております。

TEL・FAX 0967 (62)8128

高森寮だより ほほえみ

編集/高森寮広報委員会 発行/高森寮

第9号平成18年6月発行

〈住所〉熊本県阿蘇郡高森町色見822

TEL 0967-62-1780 FAX 0967-62-2368